

総合テーマ 「VUCA世界における包摂と共生の課題」

経済学者のガルブレイズが『不確実性の時代』を発表してから既に40年以上が過ぎた現在、世界はVUCAの時代にあると言われていています。VUCAとは、変動性（V）、不確実性（U）、複雑性（C）、曖昧性（A）の頭文字をとった新しい言葉で、これまでの思考や概念によって将来を予測することが困難になった状態を意味しています。

今年の市民大学講座では、このようなVUCAの時代に私たちが豊かに生きるためのヒントを一緒に考えていきたいと思えます。一方で「豊かさ」とは、文化や社会、時代によって異なり、且つ一人ひとりによっても異なります。5人の専門家たちのキーワードはフィールドワークです。現場主義から得られた研究成果に触れながら、私たちなりの「豊かさ」を考えてみたいと思えます。

（受付）9：30～ （講義）10：00～11：30

回	日程	内容	講師
1	R6/10/12 (土)	開講式 9：30～（受付 9：00～）	岡庭義行 教授
		VUCA世界を生きる ～一人ひとりのウェルビーイングとこれからの学び～	
2	11/2 (土)	包摂と共生を歴史から考える	中村 壘 教授
3	11/30 (土)	私たちの暮らしとGIS	栗林 慶 専任講師
4	12/21 (土)	地域社会とモノづくり	
5	R7/1/11 (土)	カンボジアの道具から社会変化について考える（1）	山崎寿美子 准教授
6	1/25 (土)	カンボジアの道具から社会変化について考える（2）	
7	2/1 (土)	先住民の開発を選ばなかった先住民たち	岡庭義行 教授
8	2/15 (土)	豊かに生きる～金魚の歴史と私たちの暮らし	太田和良幸 学長
		閉講式 11：45～12：00	